



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和6年1月9日発行
1月号

辰巳天井 挑戦の年に・・・

校長 井上 美保

元日の緊急地震速報に津波警報！緊急地震速報が鳴り響き、東京にいてもグラグラと長時間の揺れを感じて。石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。現地では、数日たった今も揺れや断水・停電などライフラインへの影響が続いています。この度、被災された多くの皆様に、深くお見舞いを申し上げます。

報道による被害状況から、人の命を預かる身である学校として、改めて気が引き締まる思いがしています。『正常化の偏見』・・・『まさか自分が。自分だけは大丈夫』と思いがちですが、様々な場面を想定した訓練を積み上げ、いつ何時災害が起こっても冷静に行動できるよう、教員はもちろんのこと生徒たちの危機管理意識をしっかりと高めていきたいと思えます。

さて、生徒の皆さん。

年末は、インフルエンザが猛威を振るい、少し体調を崩した生徒がいましたが、年明けにはすっかり快復したようで安心しました。ICTの活用が叫ばれている時代、生徒の皆さんが自宅に居てもオンラインでつながることができ、休業であっても学びを止めない教育活動を充実させることができました。これまで実践を積み重ねてきたオンライン学習の成果ですね。

冬季休業に入る前、全校集会で「皆さんは難しい試験を突破した選ばれた生徒たちなのだから、来年度入学してくる生徒の見本となるよう冬休みを過ごしてほしい」と約束しました。

冬休み中、南大沢学園の生徒として、規律を守り落ち着いた生活を送ることができたでしょうか。冬休み明けの元気な挨拶が、校内に戻ってきたことを嬉しく思います。

令和6年辰年 新たな年の幕開けです。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行から学校にも日常が戻ってきました。修学旅行や学園祭など、全ての行事が行動制限することなく実施でき、多くの来校者に活動の成果を見ていただくことができました。これからも制限のない平和な日常がいつまでも続くことを祈りつつ。

辰年は大きく成長する年。今年は特に挑戦の年と言われています。

3年生は卒業に向けよいよ総まとめの時期。自分の進路先も決まってきましたね。まとめの3カ月間、更なる飛躍をするためにも、今まで以上に物事に挑戦し、自分の目標に向かって突き進んでください。今年も沢山の「お疲れ様でした」が学校中に響き渡るように、活気に満ちた学校生活に期待します。

学園祭

主幹教諭 平岡 誠一郎

令和5年12月16日(土)、4年ぶりに来場制限のない形で、学園祭を実施することができました。保護者、卒業生、一般の方を合わせて1,068名の皆様に来場いただき、コロナ以前の規模に迫る人数となりました。盛大に学園祭を開催できたことを感謝しております。来場制限の撤廃については、ゴールデンウィーク明けの新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後から検討を始めました。しかしながら、コロナ前の学園祭を知っている教員も1割程度となり、計画を立てることだけでも困難を極めました。

12月8日(金)からは、ビルクリーニングコース、ロジスティクスコース、エコロジーサービスコースの生徒が体育館の舞台設営を協力して行いました。また、高1休憩室の準備では、生徒たちが毎日遅くまで、装飾の準備に励みました。本番のオープニングでは、学園祭実行委員の制作によるクオリティーの高い動画が上映され、スローガン「今しかない青春!!最高の学園祭をつくれ!!2023!」の発表とともに、生徒の青春の1ページが開幕しました。

食品コースの焼き菓子の一般販売、喫茶ひまわりのドリンク販売等については、お客様を安全にお迎えし喜んでもらえるよう、予約をどのようにしていくのか、学園祭や食品コース担当の教員も生徒も検討を重ねました。ホームページでの告知後、昨年度から始めたオンライン予約システムを活用し、来場時間や人数の事前把握に努めるなど、入念な準備を進め、学園祭当日を迎えました。そのため、学園祭当日はお客様が長い列を作ることなく、お客様はスマートホンの予約画面を見せて、30分毎に設定した予約時間どおりに来店していただくことができました。入れ替わりもスムーズで、お客様からたくさんの励ましの言葉をいただきました。学校行事の中で、こんなにも生徒全員が同じ目標に向かって主体的に活動し、つくり上げることができるイベントは他にはありません。

また、来場した卒業生たちは、学校生活を共に過ごした仲間の社会人としての姿を見ることができ、嬉しそうでした。卒業生が共通して私に伝えてきた言葉は、「先生の言っていたことが今になってよく分かります」という一言です。仲間と共に過ごした3年間の楽しさや苦労を糧に、社会人として立派に育ち、自分の力で生きていくその姿は頼もしく、嬉しさのあまり、私の気持ちも高揚し、目頭が熱くなりました。卒業してからの人生は、とても長い時間です。私も高校時代の3年間を振り返ると、たくさんの思い出が今でも蘇ってきます。学ぶ中で様々のことを感じ、生徒自身が成長し、巣立っていくことを願っています。

学園祭はたった1日で終わりますが、それをつくり上げてきたプロセスが大切です。コロナ禍で様々なことが制限され、声を出したり、仲間と触れ合ったりできなかった時期もありましたが、残りの期間が最高の学校生活となるよう、学校全体で取り組んでいきます。



※今年度から学園通信は、UDフォント(ユニバーサルフォント…読みやすい、判別しやすい書体)を使用しています。